



11月 November 12月 December 講座紹介

PICK UP

申込期間

小・中・義務教育学校：9/2(月)～9/13(金)
府立学校：9/2(月)～9/20(金)

指標	基本	基本的資質能力	人権	人権	学習	学習指導	会場	セ	センター	北	北部研修所	校内	校内	校内
観点	生指	生徒指導	マネ	マネジメント				所	各所属校(園)	外	外部会場			

オンライン No.303 11月22日(金) 13時30分～

企画提案・プレゼンテーション講座 (企業連携)

講師 一般社団法人 日本青少年育成協会
主席研究員 大村 伸介

自身のアイデアやプロジェクトの計画を相手に効果的に伝えるための、企画提案やプレゼンテーションのスキルをワークや演習を通じて学びます。

会場 **所** 基本 **校内**

オンライン No.353 11月19日(火) 13時30分～

人権教育講座 II

～外国にルーツをもつ子どもへの支援～

講師 京都教育大学 教授 浜田 麻里

人権教育を推進するための基本的な考え方や人権教育の指導の在り方等について理解を深め、的確に実践できる指導力の向上を目指します。

会場 **所** 人権 **校内**

オンデマンド No.427 11月5日(火)～12月6日(金)

全国学力・学習状況調査活用講座

講師 京都府総合教育センター 所員

令和6年度全国学力・学習状況調査(質問紙、国語、算数・数学)の結果から児童生徒の学力状況を明らかにし、分析、検証方法や授業改善の方策等への理解を深めます。

会場 **所** 学習 **校内**

集合 No.434 11月25日(月) 10時30分～

授業に生かすファシリテーション講座

講師 東京工業大学 名誉教授 中野 民夫

児童生徒の主体的な学びを支援する伴走者としての役割を果たすためのファシリテーションスキルを講義やワーク等を通して学びます。

会場 **セ** 学習 **校内**

集合 No.440 11月1日(金) 13時30分～

日本文化学講座

会場 **外** 国際日本文化研究センター

講師 国際日本文化研究センター 所長 井上 章一
教授 荒木 浩
教授 劉 建輝

国際的な視点に立って日本文化を研究されている国際日本文化センターの研究者からの講義や施設見学を通して、日本文化についての理解を深めます。 ※詳細は裏面

会場 **所** 学習 **校内**

集合 No.469 11月19日(火) 13時30分～

教育相談<上級>講座 III

～学校で生かすカウンセリング・アプローチ～【領域③】

講師 京都大学 名誉教授 放送大学 特任教授 桑原 知子

カウンセリングの視点を生かした関わりについて学ぶとともに、事例を通してより深い児童生徒理解や連携の在り方について考えます。

会場 **セ** 生指 **校内**

オンライン No.507 12月9日(月) 15時30分～

自然災害のリスクとクライシス講座

講師 岩手県立図書館 館長 森本 晋也

学校の危機管理マニュアルの的確な運用に必要な、学校安全の確保に向けた危機管理能力及び危機対応力の向上を目指します。

会場 **所** マネ **校内**

集合 **オンライン** No.510 12月2日(月) 13時30分～

最新教育動向講座 II

講師 かかわりプログラム Simple 代表 曾山 和彦

最新の教育動向や研究成果から幅広く見識を養い、より一層の学校経営の充実と改善に生かすために必要な資質能力を高めます。

会場 **北** 又は **所** マネ **校内**

オンライン **学校DX研修** 11月6日(水) 16時00分～

【市町(組合)立学校】No.900 会場 **所**
【府立学校】 悉皆 S66・M60・H55 選択 G59

授業活用 (STEAM教育)

STEAMライブラリーを活用した実践事例を知り、STEAM教育を取り入れた授業について学びます。

学校DX研修 CHECK!!

学校DX研修は、効果的なICTの活用を推進する研修です。
実施時間：16：00～16：50
11月対象講座数
府立学校 6講座
市町(組合)立学校 5講座
学校DX研修の概要については、右の二次元コードから御確認いただけます。

高精細複製品による対話型鑑賞の体験



中高美術講座～日本美術（屏風）鑑賞～No.417
 日時：令和6年12月6日（金）13:30～17:00
 会場：京都府総合教育センター



高精細複製品とは??
 最新のデジタルイメージング技術と高度な伝統工芸の技によって、限りなく本物に近づけた最高級のレプリカです。
 本物はガラスケース越しにしかなることができず、また自然光のもとで見ることができません。しかし、レプリカは直に、そして自然光のもとで見ることができます。

美術作品のよさや美しさを感じ取り味わう鑑賞とは？



提供：独立行政法人国立文化財機構 文化財活用センター

太陽の光が差し込み金色に輝く屏風、やわらかな行灯の光に照らされ闇の中浮かびあがる屏風、屏風が作られた時代と同じような光のもとで、当時の人々と同じような心持ちになれる鑑賞体験をします。その後、鑑賞の授業実践に繋がる研究協議を行い、各校での鑑賞の授業の充実を図ります。

鑑賞する高精細複製品の屏風

- ▶ 風神雷神図屏風（尾形光琳）
- ▶ 夏秋草図屏風（酒井抱一）
- ▶ 松林図屏風（長谷川等伯）
- ▶ 平家物語図屏風

講師 東京国立博物館 文化財活用センター 主任研究員 小島有紀子

〔担当〕 地域教育支援部
 （電話0773-43-2934）

国際的な視野に立った日本文化を学ぶ

令和6年度新規開講
 国際日本文化研究センター
 京都府教育委員会 連携事業

日本文化学講座 No.440

日時：令和6年11月1日（金）13:30～17:00
 会場：国際日本文化研究センター（京都市西京区御陵大枝山町3-2）



我が国の文化・伝統への関心を高め、 それを継承する次世代の人材を育成するために必要なことは・・・？

平安遷都以降、千年を超えて我が国の都として栄え、有形無形の文化財が多く残され受け継がれてきた「古都京都」。文化庁移転（令和5年3月）を契機として、「古都京都」は、新たな「文化の都京都」への歩みを進めています。

多くの文化・伝統が蓄積され守られてきた「古都京都」のよさとともに、今後、世界各国との結びつきがますます深まる中で、次世代を担う子どもたちに継承していかなければならないものは何でしょうか。国際的な視野に立って学際的かつ総合的な研究が行われている国際日本文化研究センターでの研修を通して、日本文化についての理解を深めるとともに、ふるさとへの誇りや郷土愛、そしてグローバルな視点をもった子どもたちの育成について考えます。



国際日本文化研究センター

- ◆講義I 「日本文化を世界のなかで考える」
 国際日本文化研究センター 所長 井上 章一
- ◆講義II 「世界を翔ける日本の古典文学」
 国際日本文化研究センター 教授 荒木 浩
- ◆講義III 「支え合う日中二百年—文化史から見るもう一つの両国関係」
 国際日本文化研究センター 教授 劉 建輝
- ◆施設見学とまとめ 「国際日本文化研究センター施設・図書館等の見学」
 ＊円形の閲覧室が特徴的な日文研図書館も見学させていただきます。
 外国語で書かれた日本研究図書等に重点をおいて、日本研究に必要な各種資料が幅広く収集されています。

〔担当〕 研修・支援部（電話075-612-2952）